

★ちば県議会だより

党派別議員数	
自民党	51人
千葉民主の会	11人
公明党	8人
立憲民主党	7人
共産党	5人
市民ネット・社民・無所属	4人
千翔会	2人
千葉県民の声	1人
いんば無所属の会	1人
無所属	2人
定数95人 現員92人	(平成30年7月6日現在)

県議会は、年に4回(2月、6月、9月、12月)定例会を開きます。ちば県議会だよりは、各定例会の審議の概要等をお知らせしています。

発行 千葉県議会 編集 千葉県議会事務局政務調査課 千葉市中央区市場町1-5 (〒260-0855) 電話 043 (223) 2523 FAX 043 (222) 4073 千葉県議会 検索



六月定例会県議会のあらまし



六月定例会県議会は、六月十三日に召集され、七月六日までの二十四日間にわたり開催されました。

開会日には、議長の諸般の報告に続き、条例の制定や一部改正など議案十九件、報告十五件が上程され、知事から提案理由説明と県政の当面する諸問題について報告がありました。

六月十九日から六日間にわたり行われた代表質問及び一般質問は、二十三名の議員が登壇し、財政問題をはじめ、防災・災害対策、道路問題、教育問題等について活発な議論が展開されました。

各常任委員会は、六月二十八日から四日間にわたり開催され、付託された議案・請願について具体的・専門的な審査が行われました。

最終日には、各常任委員会委員長の審査結果報告、討論が行われ、採決の結果、議案については原案のとおり可決されました。

その後、追加上程された人事案件二件が同意され、続いて、議員発議案(意見書)二十六件のうち六件を可決し、今定例会に付議されたすべての案件の審議を終了しました。

また、任期満了に伴う、各常任委員会及び議会運営委員会委員の選任及び正副委員長の互選が行われました。

最後に小高伸太議長、鈴木昌俊副議長の辞職により、正副議長選挙が行われました。

6月20日(水)



共産党
寺尾 賢 議員
(千葉市花見川区)



公明党
秋林 貴史 議員
(松戸市)

6月19日(火)



千葉民主の会
松戸 隆政 議員
(松戸市)



自民党
林 幹人 議員
(成田市)

代表質問

質問項目は、主な項目を掲載しています。その他の項目は、千葉県議会ホームページに掲載しています。

千葉県議会 質問項目 6月 検索

議長、副議長紹介



第72代議長
吉本 充 議員
(自民党 富津市 5期)



第70代副議長
石毛 之行 議員
(自民党 銚子市 4期)

本会議最終日、第72代議長に吉本充議員、第70代副議長に石毛之行議員が選出されました。吉本議長は「千葉県の持つポテンシャル、魅力をいかに県民の皆様の幸せのために形にしていけるかが、県議会に課せられた使命だと考えている。行政とは、よい意味で緊張感のある切磋琢磨を心がけ、公平公正な議会運営に当たりたい。」と抱負を述べました。また、石毛副議長は「重責を認識し、精一杯議長を支え、その職務に当たりたい。」とあいさつしました。

- ▼ ダブルケア支援
- ▼ 依存症対策
- ▼ ひとり親家庭に対する医療費助成の現物給付化
- ▼ 盲ろう者支援
- ▼ 新型オービスの導入
- ▼ 私立高校の保護者負担軽減
- ▼ 陸自オースプレイの木更津駐屯地暫定配備計画
- ▼ 成田空港の機能強化
- ▼ 県立病院の充実
- ▼ 保育
- ▼ 若者への就労支援
- ▼ 小規模事業者の振興

- ▼ 成田空港の更なる機能強化
- ▼ 防災対策
- ▼ 第三期千葉県がん対策推進計画(仮称)千葉県総合救急災害医療センターの整備
- ▼ 東京オリンピック・パラリンピック幕張新都心における新駅設置
- ▼ 行財政改革
- ▼ 公立学校の講師未配置問題
- ▼ 豪雨・土砂災害対策
- ▼ 児童虐待対策
- ▼ 東京外かく環状道路の活用
- ▼ 住宅支援政策

ちば中学生県議会を開催

94校、282名が参加

6月13日(水)の本会議散会后、中学校社会科の「民主政治と政治参加」の体験学習として、県内の公立・私立中学校の生徒による、ちば中学生県議会が開催されました。

森田知事から県政の概要説明があり、その後、10名の中学生議員が登壇し、県の施策等について質問。関係課長等が答弁を行いました。

最後に「インターネットの安全で安心な利用によるネット被害ゼロのちばづくりに関する決議」を全員一致で可決し、ちば中学生県議会は終了しました。(決議文は4面に掲載)



正副議長を務めた生徒



生徒は、議員役、傍聴役を交代で体験

代表質問から

財政

県の基礎的財政収支の状況はどうか。

また、それについて、どのように評価しているのか。

基礎的財政収支は、県債以外の歳入と、県債償還以外の歳出の収支を見るものであり、これが黒字であれば、その年度に必要な歳出を県債に頼らず、賄えていることとなる。

近年、臨時財政対策債の多額の発行が続いていたことから、基礎的財政収支は赤字で推移していたが、県税収入の増加や、これまでの行政改革の取り組みによる収支改善を背景に、平成二十七年以降、黒字に転換して推移している。

しかし、今後、高齢化の進展などによる社会保障費の増加や、老朽化が進む県有施設への対応などが見込まれており、基礎的財政収支が黒字で推移しているとはいえ、県財政の厳しい状況に変わりはないと考えている。

成田空港

成田空港周辺の地域づくりに関する基本プランをもち、どのような地域づくりを目指しているのか。

空港周辺の地域づくりを進めるに当たっては、我が国を代表する国際線の基幹空港を有するという優位性を最大限生かす、その効果を周辺地域の全域に、くまなく波及させることが重要であると認識している。

がん対策

改定された千葉県がん対策推進計画は、どのようなものか。また、計画に基づき、具体的にどのように進めていくのか。

このため、基本プランでは、空港周辺地域への企業誘致や空港を活用した農林水産物の輸出といった「産業振興」、道路整備を初めとする「インフラ整備」、子育て・教育の充実などによる「生活環境の向上」を柱に取り組んでいくこととしている。

県としては、基本プランの具現化を進め、地域の発展と空港の発展が好循環する地域づくりの実現を、地元市町や空港会社、国とともに目指していく。

防災

自助・共助の取り組みを促進するため、県は、どのような対策を講じているのか。

平成三十年四月に、防災ポータルサイトをリニューアルし、自助に役立つ情報を容易に入手できるように、スマートフォン表示に対応するとともに、県民一人一人がみずから行動できるような学びのコンテンツ「じぶん防災」を新たに設けた。

また、岩手県での河川氾濫や熊本地震の教訓を踏まえ、災害時に地域住民が互いに助け合い、行動できるように、各種防災訓練の中で、高齢者等、自力で避難することが困難な人々への支援や、自主防災組織による避難所運営など、共助の取り組みにも力を注いでいる。今後も、防災情報発信の充実や、さまざまな実効性のある訓練を通じた住民相互の連携の充実・強化など、自助・共助の促進に向けた取り組みを進め、地域防災力の向上を図っていく。

オリンピック・パラリンピック

大会開催に向けて、平成三十年度は、どのような点に力を入れて取り組んでいくのか。

平成三十年度は、競技会場にふさわしい環境整備を着実に進めると同時に、開催機運の醸成を加速化していかなければならないと考えている。

具体的には、幕張メッセは、受変電設備の更新や中央エントランスの改修を進め、釣ヶ崎海岸は、自然公園施設の整備に着手するなど、

小規模企業

事業者数の減少に対し、少なくともこれ以上減らさないことを目標に掲げるべきだと考えるがどうか。

小規模企業は、地域住民に身近なサービスを提供する業種が大半を占め、地域の重要な生活基盤となっているが、現状は、経営者の高齢化等に伴い、休業業が増加している。

事業者数の減少は、地域の活力低下につながりかねないことから、小規模企業の経営基盤を強化していくことは、重要な課題と認識している。

そこで、第四次ちば中小企業元気戦略では、小規模企業の振興を重要な柱として新たに位置づけ、事業承継への支援等、小規模企業の持続的な発展を図るための施策を着実に推進していく。

幕張新駅

幕張新都心拡大地区新駅設置協議会とJR東日本の間で締結された基本協定の内容と、今後の事業スケジュールはどうか。

平成三十年四月二十日に、JR東日本と幕張新都心拡大地区新駅設置協議会との間で締結された基本協定においては、新

駅の位置が明示されたほか、設計及び工事等に要する費用の六分の一をJR東日本で、六分の五を同協議会で負担することなどが定められた。

今後は、JR東日本において概略設計を行い、次年度以降に詳細設計を実施し、鉄道事業法に基づく認可手続を経て、工事に着手することになる。順調に進めば、六年後の完成を見込んでいると聞いている。

県としては、交通利便性の向上による幕張新都心のさらなる活性化に向け、同協議会を通じて、今後の事業が円滑に進むよう協力していく。

医療

(仮称)千葉県総合救急災害医療センターの整備は緊急性が高いと考えるが、中断している基本設計の取り扱いはどうするのか。

県救急医療センターと県精神科医療センターを統合して整備する、(仮称)千葉県総合救急災害医療センターは、平成二十八年度に基本計画を策定したが、県循環器病センターのあり方検討に伴い、平成二十九年十一月から基本設計の業務を中断している。

県では、県救急医療センターと県精神科医療センターの整備の緊急性等を総合的に勘案し、現在の基本計画に基づき整備を進め、平成三十年七月から基本設計を再開したいと考えている。

公立学校講師

講師の未配置を解消するため、県教育委員会では、どのような取り組みをしているのか。

定数内欠員補充講師など、講師の確保を図るため、平成二十九年度から、講師の年齢要件を原則六十五歳まで引き上げたが、平成三十年度から、六十五歳を超える方も、健康で意欲があれば任用できるように、年齢要件をさらに緩和した。

これまでも、各教育事務所が連携し、講師募集の広報等に努めてきたが、今後、新たな取り組みとして、講師希望者の利便性向上のため、スマートフォンなどを利用した登録が可能となるよう準備を進めていく。

さらに、教員免許状を保有していないながら、教職についていない県内外の新たな人材を発掘するため、平成三十年六月に、市川市で「千葉県全地区一斉講師採用説明会」を開催し、講師希望者の情報を集約し、各教育事務所に提供するなど、講師の確保に努めていく。

交通

新型オービスを導入すべきと考えるがどうか。

いわゆる新型オービスとは、高速道路や国道に従来から設置されている固定式のオービスと異なり、通学路や生活道路における交通安全の確保等を目的と、小型で持ち運び可能な速度違反取り締まり装置である。

新型オービスの導入については、すでに導入している他県の取り組みを調査したところ、小人数、省スペースで設置可能であり、設置場所における路線の車両速度が減少することから、本県も、導入に向けて、関係機関と調整を図っていききたい。

可決・同意された議案

条例の制定(一件)

▽介護医療院の人員、施設及び設備並びに運営に関する基準を定める条例

◆条例の一部改正(十件)

▽職員の特種勤務手当に関する条例

例

▽千葉県県税条例等

▽千葉県議会議員及び千葉県知事の選挙における選挙運動用自動車の使用等の公費負担に関する条例

例

▽住民基本台帳法に基づく本人確認情報の利用及び提供に関する条例

例

▽使用料及び手数料条例

▽千葉県男女共同参画センター設置管理条例

▽病院及び療養病床を有する診療所の人員及び施設等に関する基準を定める条例

▽旅館業法施行条例等

▽千葉県中小企業融資損失てん補条例

例

◆その他(十件)

▽千葉県立高等学校設置条例

◆その他(十件)

▽契約の締結(二件)

▽契約の変更(三件)

▽財産の処分(一件)

▽三郷流山橋有料道路事業の実施

▽監査委員の選任同意(一件)

可決された意見書

▽日本年金機構の情報セキュリティ対策の見直しを求める意見書

▽地域材の利用拡大推進を求める意見書

▽義務教育費国庫負担制度の堅持に関する意見書

▽国における平成三十一年度教育予算拡充に関する意見書

▽警察官の増員に関する意見書

▽学校におけるブロック塀等の安全確保に要する費用の補助金制度の早急な創設及び先行して対

ちば県議会だより

各常任委員会の
主な質疑から

総務防災常任委員会

問 大阪府北部の地震を受けて、県有施設におけるブロック塀等の緊急調査の状況はどうか。

また、緊急性が高い通学路などは、九月補正予算を含めて早急な対応をお願いしたいが、今後の対応はどうか。

答 平成三十年七月三日現在、県警察を除く二百四十四所属に、百七十一カ所のブロック塀等があり、そのうち建築基準法の基準に適合しないおそれのあるものが百二十九カ所、亀裂等のあるものが四十三カ所確認された。

今後は、速やかに県警察を含めた調査結果を取りまとめた後、さらに詳細調査を実施し、危険なブロック塀等の撤去や改修などの必要な対策を講じていく。

総合企画水道常任委員会

問 千葉県工業用水道事業中期経営計画について、主な取り組みはどのようなものか。

また、受水企業からの意見に対し、どのように対応したのか。

答 主な取り組みとして、施設更新・耐震化長期計画に基づく浄水場の施設設備の更新、コンクリート管等五・四キロメートルの布設替えや、水管橋三橋の整備を行う。

また、受水企業からの意見を踏まえて、企業向けの説明会を開催するとともに、業務継続計画の策定を、主な取り組みに位置づけた。

健康福祉常任委員会

問 介護医療院の今後の整備見込みはどうか。

また、介護保険給付費等への影響はどうか。

答 平成三十年三月に策定した千葉県高齢者保健福祉計画において、全県における介護医療院の必要入所定員を、平成三十二年度末までに百八十四床と見込んでおり、そのほとんどが介護療養病床からの転換である。

また、介護保険給付費等への影響は、現在のところ、大きな影響が出るものではないと考えている。

環境生活警察常任委員会

問 地域における防犯力の向上を図るため、県としてどのような取り組みを行っているのか。

答 防犯カメラや防犯ボックスの設置を促進するほか、パトロール資機材の整備、学生等のヤング防犯ボランティアへの支援などを通じて、地域の防犯活動の活性化を図っている。

商工労働企業常任委員会

問 茂原にはいる工業団地、袖ヶ浦椎の森工業団地への、企業立地による地域経済への波及効果はどうか。

答 両工業団地への企業立地により、雇用や投資が見込まれるとともに、今後は、地域企業との取引拡大等、地域経済の好循環が期待される。

農林水産常任委員会

問 漁業者の所得向上を図るため、平成三十年度は、どのように取り組んでいくのか。

答 水産物の鮮度を保持する製氷・貯氷施設や水揚げ物の付加価値を高める食堂直売施設兼加工施設、ノリ養殖のコスト低減・品質向上のための共同加工施設などの整備を支援していく。

また、銚子市において、水産加工施設を三カ年で整備する計画が始まるため、これを支援していく。

県としては、これら支援とあわせ、水産物のブランド化についても、引き続き、推進していく。

県土整備常任委員会

問 千葉県道路整備プログラムの具体的な内容はどうか。

答 本プログラムは、圏央道の新線開通の効果を県内各地へ広く波及させる道路整備を進めるため策定したものであり、全線開通までに供用を目指す路線を選定した。

また、圏央道の開通に向けた道路整備の必要性を示すとともに、整備に必要となる予算の確保を国等へ働きかける資料としても活用していく。

文教常任委員会

問 大阪府北部の地震によるブロック塀倒壊事故に関連し、学

校施設について、具体的にどう対応していくのか。

校施設について、具体的にどう対応していくのか。

答 県教育委員会では、県立学校及び市町村教育委員会に対し、学校施設の安全点検を速やかに行うよう通知した。

また、県立学校施設について、今後、危険と判断したものに

ついては、改修など必要な措置を講じていく。

議会において
同意・選出された委員・議員

生活衛生適正化審議会	中村 実 (自民党)
国土利用計画地方審議会	入江 晶子 (市社無)
監査委員	西田三十五 (自民党) 白井 正一 (自民党)
君津広域水道企業団議会議員	森 岳 (自民党)

(平成30年7月6日現在)

議会運営委員会委員

現員/定数	16 / 16
委員長	木名瀬捷司 (自民党)
副委員長	中台 良男 (自民党)
委員	今井 勝 大松 重和 林 幹人 山本 義一 斉藤 守 関 政幸 石井 一美 戸村 勝幸 (自民党)
	田中 信行 横堀喜一郎 松戸 隆政 (千葉民)
	横山 秀明 仲村 秀明 (公明党)
委員外員	丸山 慎一 (共産党)
	小宮 清子 (市社無) 水野 友貴 (千翔会) 安藤じゅん子 (立憲民) ブリティ長嶋 (県民声) 岩井 泰憲 (いんば) 川名 康介 (無所属)

(平成30年7月6日現在)

平成30年9月定例県議会 会期及び議事・委員会予定(素案)

月日	議事・委員会予定	開議予定時間
9月13日(木)	開会 TV	午前10時~
20日(木)	質疑並びに一般質問 TV	//
21日(金)	// TV	//
25日(火)	// TV	//
26日(水)	//	//
27日(木)	//	//
28日(金)	//	//
10月2日(火)	常任委員会(総務防災・総合企画水道)	//
3日(水)	// (健康福祉・環境生活警察)	//
4日(木)	// (商工労働企業・農林水産)	//
5日(金)	// (県土整備・文教)	//
11日(木)	閉会	午後1時~

TV ...チパテレビで生放送されます。
パソコン、スマートフォンなどでインターネット中継をご覧いただけます。
※本素案はおおむねの日程であり、招集日前の議会運営委員会で協議されます。

常任委員会委員

委員会名	総務防災	総合企画水道	健康福祉	環境生活警察	商工労働企業	農林水産	県土整備	文教	
現員/定数	12 / 12	10 / 12	12 / 12	12 / 12	12 / 12	11 / 11	11 / 12	12 / 12	
委員長	関 政幸 (自民党)	小池 正昭 (自民党)	伊豆倉雄太 (自民党)	鈴木 衛 (自民党)	森 岳 (自民党)	戸村 勝幸 (自民党)	鶴岡 宏祥 (自民党)	茂呂 剛 (自民党)	
副委員長	中沢 裕隆 (自民党)	石井 一美 (自民党)	斉藤 守 (自民党)	三沢 智 (自民党)	實川 隆 (自民党)	小路 正和 (自民党)	五十嵐博文 (自民党)	中村 実 (自民党)	
委員	自民党	浜田 穂積	本清 秀雄	伊藤 和男	河上 茂	小高 伸太	酒井 茂英	宇野 裕	吉本 充
		佐藤 正己	本間 進	川名 寛章	山中 操	阿部 紘一	酒井 茂英	鈴木 昌俊	中台 良男
		木名瀬捷司	阿井 伸也	石橋 清孝	信田 光保	田中 宗隆	石毛 之行	西田三十五	林 幹人
	千葉民	木下 敬二	武田 正光	佐野 彰	江野澤吉克	白井 正一	大松 重和	山本 義一	小野崎正喜
		瀧田 敏幸		伊藤 昌弘		今井 勝			
		田中 信行	天野 行雄	河野 俊紀 ^{*1}	竹内 圭司	石井 宏子 ^{*2}	石井 敏雄	高橋 浩	横堀喜一郎
		網中 肇 ^{*1}	矢崎堅太郎 ^{*1}	磯部 裕和	野田 剛彦	鈴木 均 ^{*1}	中田 学	松戸 隆政	守屋 貴子 ^{*1}
公明党	田村 耕作	塚定 良治	赤間 正明	藤井 弘之	仲村 秀明	秋林 貴史	阿部 俊昭	横山 秀明	
			寺尾 賢	三輪 由美	丸山 慎一		岡田 幸子	加藤 英雄	
市社無			入江 晶子	山本 友子	小宮 清子			ふじしろ政夫	
	千翔会					谷田川充丈			
立憲民						大崎 雄介			
	一人会派 無所属議員	ブリティ長嶋 (県民声)					岩井 泰憲 (いんば)	川名 康介 (無所属)	

※1 平成30年7月6日付で立憲民主党に会派を変更しました。 ※2 平成30年7月6日付で無所属議員となりました。
(平成30年7月6日現在)

千葉県議会
インターネット中継

インターネットで本会議、予算委員会の生中継及び録画中継(過去3年分)をご覧いただけます。

千葉県議会中継 検索



採択された請願

▽精神障害者も千葉県重度心身障害者医療費助成制度の対象とすることを求めることについて

(二面より続き)

応じた自治体への制度の適用的な適用を求める意見書

ちば県議会だより

一般質問

質問項目は、主な項目を掲載しています。その他の項目は、千葉県議会ホームページに掲載しています。
千葉県議会 質問項目 6月 検索
※の議員は平成三十年七月六日付で立憲民主党に会派を変更しました。

六月二十一日(木)



自民党 佐野 彰 議員 (千葉市中央区)

第二湾岸道路の実現に向けて京葉線・総武線の利便性の向上
新県立図書館基本計画
子どもの貧困



公明党 赤間 正明 議員 (市川市)

東京外かく環状道路
JR総武線ホームドア設置計画
行徳野鳥観察舎
東京オリピック聖火リレー



自民党 武田 正光 議員 (流山市)

(仮称)三郷流山橋
つくばエクスプレスの利便性向上
東葛飾地域の観光
児童虐待



千葉民主の会 守屋 貴子 議員* (市川市)

子ども食堂
食品ロス
行徳湿地
江戸川第一終末処理場

六月二十一日(金)



自民党 山本 義一 議員 (八街市)

農林業問題
東京オリピック・パラリンピック道路問題
ちばアクアラインマラソン2018



自民党 中沢 裕隆 議員 (柏市)

ホームドアの普及促進
周産期医療
ラグビーワールドカップ
電話de詐欺の被害傾向



自民党 伊豆倉 雄太 議員 (市原市)

千葉県循環器病センター
消防団への支援
農業振興
児童虐待



自民党 戸村 勝幸 議員 (香取郡)

千葉県国際戦略による海外展開
道路問題・地域活性化
農福連携・酪農振興
成田空港



千葉民主の会 網中 肇 議員* (千葉市中央区)

情報公開条例の請求者要件撤廃
千葉県公文書管理条例の制定
健康福祉部での不適切事務の多発
県内建築物の耐震化の促進

六月二十五日(月)



立憲民主党 大崎 雄介 議員 (船橋市)

児童福祉
保育
特別支援学校
先天性代謝異常等検査



自民党 山中 操 議員 (千葉市若葉区)

旧青少年女性会館
コンテナ貸し倉庫
千葉県住宅供給公社の経営状況
上下水道料金の徴収一元化



自民党 中村 実 議員 (船橋市)

受動喫煙対策
「子ども」表記
海老川水門の改修
警察力の強化



千葉民主の会 矢崎 堅太郎 議員* (浦安市)

鉄道政策
マンション対策
子ども食堂
浦安市内の護岸



自民党 宍倉 登 議員 (千葉市花見川区)

水道事業
千葉港
企業誘致
道徳教育

六月二十六日(火)



千翔会 水野 友貴 議員 (我孫子市)

減災対策
湖沼の環境保全
電話de詐欺被害防止対策
がんの終末期医療



自民党 小池 正昭 議員 (成田市)

成田国際空港
農業問題
急傾斜地の対策
教育問題



市民ネット・社民・無所属 入江 晶子 議員 (佐倉市)

地下水の継続利用
石炭火力発電所計画と粉じん被害
種子法廃止による影響と対応
夜間定時制高校の給食廃止



自民党 石井 一美 議員 (鎌ヶ谷市)

道路問題
治水問題
教育問題



自民党 今井 勝 議員 (我孫子市)

東京オリピック聖火リレー
手賀沼終末処理場の下水汚泥焼却灰
手賀沼を周回するサイクリングロード
教育行政

6月定例県議会 知事あいさつ

今回提案いたしました案件は、各種条例案及びその他附帯議案の19議案のほか、報告15件です。

議案第1号は、介護保険法の一部改正による介護医療院の創設に伴い、その施設設備等の基準を定めるため、条例を制定しようとするものです。

議案第3号は、地方税法等の一部改正に伴う、県たばこ税の税率引上げなどのため、議案第4号は、選挙運動用ビラの公費負担を行うため、議案第7号は、千葉県男女共同参画センターを移転するため、議案第10号は、中小企業の事業承継の推進を目的として、県制度融資に係る損失てん補の対象を拡大するため、議案第11号は、市原高等学校と鶴舞桜が丘高等学校を統合するため、それぞれ条例の一部を改正しようとするものです。

次に、議案第12号及び議案第13号は、幕張メッセ及び千葉県総合スポーツセンター野球場の工事請負に係る契約を締結するため、議案第14号から議案第16号までの3議案は、労務単価の上昇に伴う工事請負契約の変更のため、議案第17号及び議案第18号は、工業団地に係る土地の処分のため、議案第19号は、有料道路事業の実施に係る同意のため、それぞれ議会の議決を得ようとするものです。

●東京外かく環状道路の開通

6月2日に東京外環自動車道の三郷南インターチェンジから高谷ジャンクションまでの15.5キロメートルが開通しました。この開通により、都心を通ることなく関東各地にアクセスが可能となり、物流の活性化、広域的な観光交流の促進などが期待されます。

併せて、側道部分となる国道298号の松戸市上矢切から市川市高谷までの区間、11.4キロメートルが開通し、市川・松戸間の地域が初めて4車線道路で結ばれ、沿線地域の渋滞緩和、生活道路の安全性向上に寄与するものと考えております。

今後も、広域的な幹線道路の整備を進めるととも



に、その効果を県内全域に波及させるため、県内の道路ネットワーク整備に取り組んでまいります。

●ちばアクアラインマラソン2018

10月21日の開催まで、あと4か月あまりとなりました。

4回目となる今回の大会には、2020年のパラリンピックの機運醸成に向け、障害のある方には「パラ・スポーツ枠」を、一定額の寄附をいただける方には「特別チャリティ枠」を、それぞれ特別枠として設けたところです。

また、一般枠では、フルマラソン、ハーフマラソン、合わせて1万7千人の総定員に対して、2倍を超える応募がありました。

今後は、各種イベントでのPR活動を通じ、大会の機運を盛り上げるとともに、大会当日には、千葉の魅力いっぱいの物産展や、コース沿道での熱い応援などにより、参加するランナーや観客、ボランティアの方々など関係するすべての皆様の心に残る大会になるよう、しっかりと準備を進めてまいります。

知事あいさつの全文は、県ホームページでご覧いただけます。

千葉県議会 知事あいさつ 検索

ちば中学生県議会決議文

インターネットの安全で安心な利用による ネット被害ゼロのちばづくりに関する決議

進展する情報化社会の中で、私たち中学生をはじめとした、多くの人がインターネットを利用しています。

私たちの生活を豊かで便利にするインターネットですが、使い方を間違えれば、犯罪やトラブルに巻き込まれてしまう危険性があります。中学生の利用頻度が高いSNSは、誰でも気軽にやり取りできるなどの利点がある反面、使い過ぎによる生活習慣の乱れや、個人情報の流出、いじめなどの被害につながっているのも現状です。

今後、さらに情報化社会が進展すると、依存症で心や身体を壊してしまう人や、インターネットを通じた犯罪に巻き込まれる人が増えてしまうのではないかと心配になります。

インターネットは、利用している人が気づかないうちにトラブルに巻き込まれてしまうケースが非常に多いと聞きます。これは、インターネットの危険性や正しい使い方を十分に認識していない人が多いことなどが原因と考えられます。

インターネットを安全に安心して利用するためには、すべての人が、その危険性と正しい使い方を理解し、ルールやマナーを守って利用することが大切です。

そのためには、自分の目的にあわせて情報を選び、活用するために必要な「情報リテラシー」や、円滑なコミュニケーション、危険から身を守るために必要な「情報モラル」を身に付け、一人ひとりが責任を持ってインターネットを利用することが必要です。

こうしたことから、行政・警察・学校においては、フィルタリングの普及や犯罪防止対策の徹底など、インターネットの適切な利用に関する周知啓発、良好な環境の整備を推進するとともに、私たち中学生をはじめとした県民一人ひとりが、インターネットによるトラブルの被害者・加害者とならないよう、正しい理解と利用に努め、地域と私たちが一体となって「インターネットの安全で安心な利用によるネット被害ゼロのちばづくり」を実現すべく努力していくことを、ちば中学生県議会として、強く希望します。

以上、決議する。平成30年6月13日

ちば中学生県議会